子育て情報新聞

# もも

発行／稲美町子育て支援センター
TEL ・ FAX 079－492－9090
〒675-1115 加古郡稲美町国岡 1－1
いきがい創造センター内
2016年（平成28年） 3月 No. 299

## なんで？ ってなんで聞くの？

子育てルームでＨちゃんに、絵本『クリコさんと笑わないクマ』を読んでいたときのこと。

絵本に出てくるクマが、「どうして？」とクリコさんに質問すると、クリコさんはすかさず「そんなときこそ辞書！」と言って自分で調べさせようとします。その場面でＨちゃんがすかさず、「あのな～、Ｈのお母さんなぁ、『なんで？』って聞いたらなぁ、『何でもやから、何でもや！』って言うでぇ」と教えてくれました。

きっといろんな場面で、お母さんに「なんで？」「なんで？」を連発している３歳のＨちゃんに、ほとほと困惑したお母さんが、これ以上付き合っていられないわという思いで発した言葉だったのだろうと、思わず笑ってしまいました。

２～3 歳の頃は、何を言ってもイヤイヤを連発する自律期であるのと同時に、「なんで？なんで？」と聞いてくる質問期でもあるのですね。

例えば、「家に帰ろう！」「**なんで？**」「ご飯食べるから」「**なんでごはんたべるの？**」「ご飯食べないと、大きくなれないから」「**なんでおおきくなれへんの？**」・・と、どこまでも質問攻めしてくることがしばしばあります。こんな時、知的好奇心を満たしてやるために、ここできちんと答えてやらねば・・と頭ではわかっていても、ついイライラして「いい加減にしなさい！」と叱ってしまった経験をされた人も少なくないと思います。

言葉尻を捕らえて、まるでしりとりのように次々質問してくるときは、答えの内容より答えてくれる親とのコミュニケーションを楽しんでいることもあります。

子どもが理解できそうな言葉を選びながら、丁寧にしっかり説明してやると、案外それだけで納得し、満足することもあります。

あるいは、「何でやろうな？お母さんもわからないわ～。お父さんに聞いてみようか」と第３者に振ってみたり、「何でやと思う？」と聞き返したりすることで、子どもながらに考え出すこともあります。

学童期になると、「わからないことは、何でその場でちゃんと聞かへんの！」と叱る未来を想像して、今から子どもの“なんで？”に上手くつきあっていきたいですね。

稲美町のホームページからも、この子育て情報新聞「もも」をご覧いただけます。

また、月初めに支援センターのスタッフが子育てに関する思いを綴った「育児日誌」も掲載していますので、あわせてご覧ください。

# ～ゲストコーナー～

## 『褒めることは難しい・・・』

稲美町保健師　藤井菜穂

最近、子育ての中では「褒めることが大切」だとよく耳にしませんか？

みなさん、きっとご存知だと思いますが、褒められることで、子どもの自信、やる気が育まれます。また、「もっと褒められたい」と思うことで、自然と子ども自身が良い行動を繰り返していくようになります。そして何より、褒められる、認められることでお父さん・お母さんとの良い愛着が形成されていきます。

さて、簡単に言いましたが、「褒める」ことは意外と難しいことですよね。優しい言葉をかけ、ギュッと抱きしめてあげられると良いのかもしれませんが、すべてのお母さんがそうできるとは限りません。

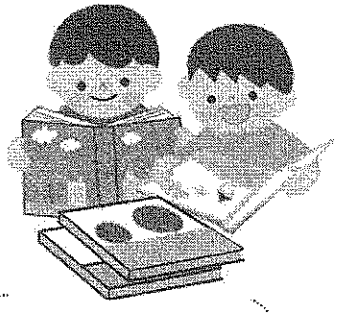
私は、上手くできなかった一人でした。とくに、上の娘が大きくなるにつれて、照れくさいような、なんとも言えない気持ちになったのを覚えています。下の子が生まれ、「お姉ちゃん」になった娘が５歳になる頃には抱っこすることはほとんどなくなり、娘に優しい言葉をかけてあげることも少なくなっていきました。それをみかねたパパが、「１０秒抱っこタイム」というものを作りました。母親とのスキンシップが大切だから！と言われましたが、頭ではわかっていても、私も娘も、心の準備ができないまま、毎日ギクシャクしながらの１０秒抱っこを続けても、一向に娘との距離は縮まりませんでした。

そんな時にみつけた、ある本に書かれていた方法を試してみることにしました。それは、子どもが寝ている間に、そっと頭をなで、「よくがんばったね」「大好きだよ」などと、声をかけるというものでした。寝ている時でさえ少し抵抗もありましたが、家族みんなが寝静まる中、毎日毎日繰り返し続けてみました。すると、不思議と少しずつ私の中にあった“違和感”がやわらいでいきました。そして、普段の生活の中でも「お母さん嬉しいな」「ありがとう、助かったよ」と何気ない、それでいて娘のことを認めてあげられるような言葉をかけていけるようになりました。その時の娘の嬉しそうな顔。いくつになっても、自分の大好きな人に褒めてもらえたら嬉しい、彼女にとって大事なことなんだと身をもって実感しました。

２４時間、３６５日休みのない、同じ日のない「子育て」に、私たち親も日々、悩んで落ち込んで、うまくいかないこともあるのも当然です。そして、「子育て」もみんなに共通なことばかりでなく、その親子に合った方法もあります。周りの方と比べて不安になったり、こうしなきゃと焦ることもありますが、自分たちにあった方法を見つけて欲しいと思います。そして、それぞれの方法でいっ～ぱい子どもに返して（褒めて）いけると良いですね。

## エリザベスママの
## 「トイレトレーニング」

# 新しい絵本が入りました！



**「つみき」**（金の星社）
中川ひろたか　文　・平田利之　絵
つみきがひとつ、ふたつと積み上げられて、その時飛んできた一匹のちょうちょが・・・

**「こりゃ　まてまて」**（福音館）
中脇初枝　文　・酒井駒子　絵
身近な小動物たちを「こりゃ　まてまて」と追いかけていく幼い子どもを、今度はお父さんが追いかけて・・・

**「おべんとうバス」**（ひさかたチャイルド）
真珠まりこ　作・絵
美味しそうなおかずやおにぎりたちが、バスに乗って向かう先は・・・

**「ぼくがラーメンたべてるとき」**（教育画劇）
長谷川義史　作・絵
ぼくがラーメンを食べてるとき、となりのミケは・・、そのとなりのみっちゃんは・・、そのまたとなりのたいちゃんは・・・

**「りんごがひとつ」**（岩崎書店）
ふくだすぐる　作・絵
りんごがひとつ落ちていた。それを拾ったサルを動物たちが追いかけて、崖の前まで追い詰めたけど・・・

**子育て支援センターでは、子育てルームの絵本を貸出しています。**
**お一人３冊まで、２週間貸出できます。**
**乳幼児が楽しめる絵本がたくさんありますので、気軽にご利用くださいね。**

# 子育てインフォメーション

《問合先》 子育て支援センター ☎492-9090

## ≪出会いの広場≫

下記の時間帯に子育てルームを開放しています！
親子共々、ステキな出会いの場にしてくださいね。おじいちゃん、おばあちゃんもお孫さんと一緒に気軽にお越しください。

**３月の開放日**

**【午前（９時～１２時）－水曜日と、第２・４月曜日】**
２(水)・９(水)・１４(月)・１６(水)・２３(水)
２８(月)・３０(水)

**【午後（１時～４時３０分）】**
月曜日～金曜日

【ところ】いきがい創造センター　子育てルーム
【対　象】未就学の子どもとその保護者

## ≪ネンネの会(0歳児)≫

日常の子どもの様子や困っていることを気軽に話し合ったり、親子のふれあいを大切にリラクゼーションできる遊びやわらべ歌を一緒に体験してみませんか。
栄養士、保健師、助産師、子育て支援員が相談に応じます。申し込みは要りません。
【と　き】3月２５日(金)10 時～11 時 30 分
【ところ】いきがい創造センター　多目的ホール
【対　象】０歳児とその保護者
【持ち物】バスタオル

## 図書館おはなし会のお知らせ

**☆スプーンおばさんのおはなし会**
日時：３月１２日（土）１４時３０分～
《場所》図書館１階のおはなし室

**☆　よちよちえほん会**
日時：３月２３日（水）１１時００分～
《場所》図書館１階のおはなし室

**☆そうべえ　おはなし会**
日時：３月２６日（土）１４時３０分～
《場所》ふれあい交流館　２階ホール

文化の森にある図書館では、上記のように図書館司書さんや読み聞かせボランティアの皆さんが、楽しいお話を聞かせてくださる機会があります。
親子でお出かけくださいね。

**【問合先】**
**稲美町立図書館　☎492－7800**

## 人形劇が始まるよ～

人形劇サークル「まま」さんによるお話を、親子でゆっくり楽しんでくださいね。申し込みは要りません。
【と　き】３月７日(月)　10 時～11 時
【ところ】いきがい創造センター　多目的ホール
【対　象】未就園児とその保護者
【演　目】「もりのしゅうりやさん」「おおきなかぶ」

## 子育て悩み相談

日頃の育児や人間関係で、少し疲れを感じている時、誰かに話をすることで、気持ちが軽くなることがあります。相談内容については、秘密厳守いたしますので、気軽にお話してください。
※託児を希望される方は、申し込み時にお伝えください。
【と　き】3月２８日(月)　①１０時～１１時　②１１時～１２時
【ところ】いきがい創造センター　相談室
【相談員】枝川京子先生(臨床心理士)
【申込先】子育て支援センター　TEL４９２－９０９０